

# オオタバコガ情報第2号（ダイズ、キク等）

令和6年6月17日  
愛知県農業総合試験場  
環境基盤研究部病害虫防除室

## フェロモントラップでの誘殺数が多い状況です ほ場での発生状況に注意し、発生を確認したら防除しましょう

### 1 発生状況

フェロモントラップにおける5月第1半旬から6月第2半旬までのオオタバコガ成虫の誘殺数は、西尾市のダイズほ場で363頭（平年107.8頭）、稲沢市のキクほ場で153頭（平年59.8頭）、豊川市のキクほ場で180頭（平年68.2頭）であり、3地点ともに過去10年間と比較して2番目に多い状況です（図1）。

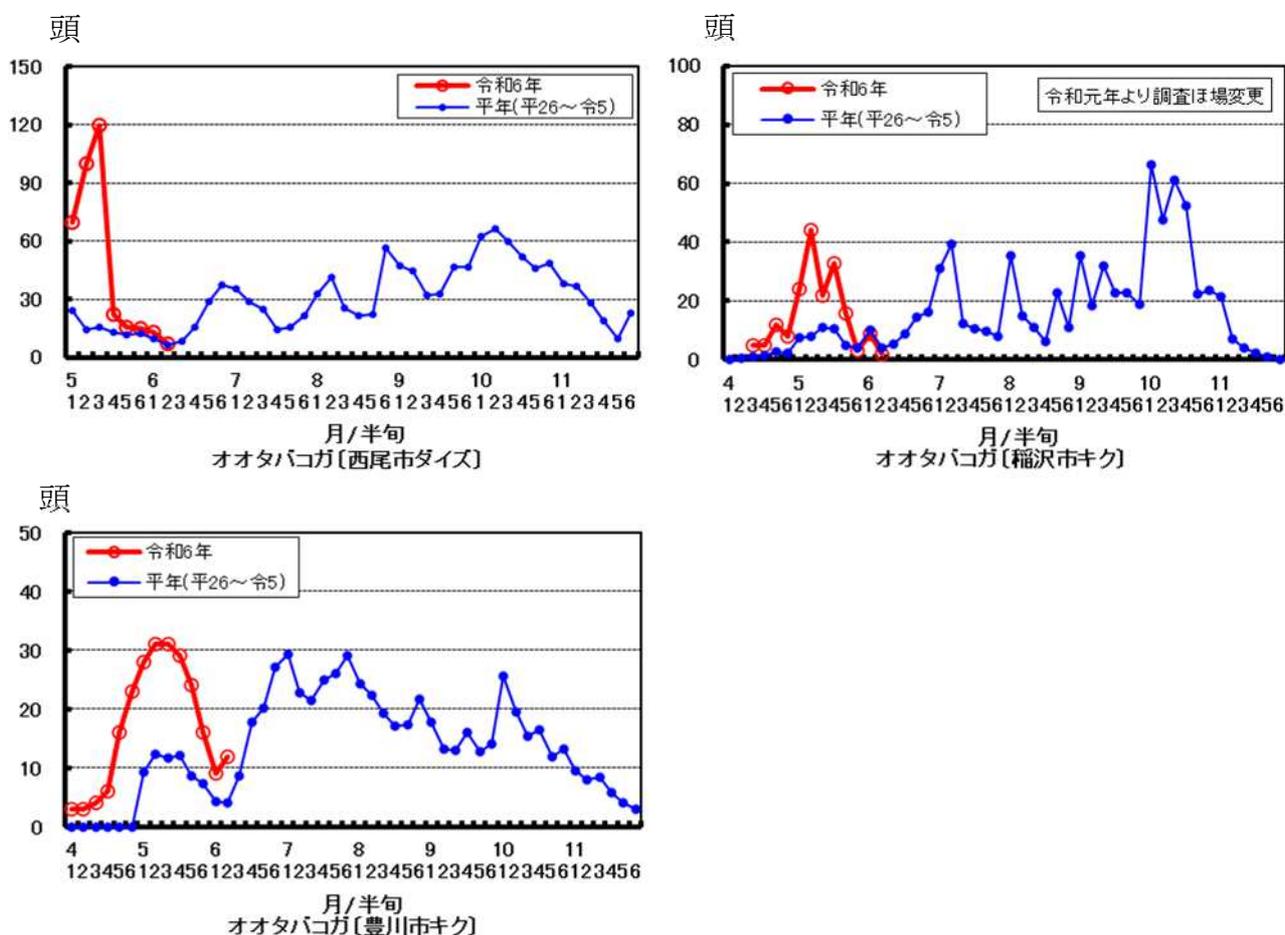


図1 フェロモントラップにおける誘殺状況

### 2 今後の予測

5月上～中旬に誘殺数が多かったことから、今後、次世代の発生量も多くなることが予想されます。また、6月13日名古屋地方気象台発表の1か月予報によれば、向こう1か月の気温は高いと見込まれており、本種の増殖に適する天候となることが予想されます。

### 3 本種による被害と防除対策

ダイズの生育初期に本種の飛来が多くなる可能性があります。ダイズにおける本種の被害は、ハスモンヨトウとは異なり、幼虫が集団で葉を食害せず、白変葉にならないため、ほ場外からの観察で発生を確認することは困難です。ほ場をよく確認し、早期発見に努め、若齢幼虫のうちに防除しましょう。（図2、3）

キクでは生長点付近や花蕾を加害し、着蕾後に加害を受けると商品価値が著しく低下します。早期発見に努め、若齢幼虫のうちに防除しましょう。（図4、5）

被害部位の残渣は、卵や幼虫が付着している可能性があるため、放置せず適切に処分しましょう。

施設栽培では施設開口部に防虫ネットを設置して、成虫の侵入を防ぎましょう。

薬剤抵抗性の発達を防ぐため、同じ IRAC コードの薬剤は連用しないようにしましょう。なお、農薬の散布に当たっては、ラベルの表示事項を守るとともに、他の作物や周辺環境への飛散防止に努めましょう。登録のある農薬については、農林水産省「農薬登録情報提供システム」（<https://pesticide.maff.go.jp/>）を参照してください。



図2 オオタバコガ成虫



図3 ダイズの葉を食害する老齢幼虫



図4 キクの葉を食害する老齢幼虫



図5 キクの花蕾を加害する老齢幼虫